

**【2】横浜市立釜利谷小学校**  
平成30年度 学力向上アクションプラン

**1 中期学校経営方針**

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○「チーム釜利谷」として全職員で子ども一人ひとりを大切にし、信頼される学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の授業力を高め、分かる授業を実践し、子どもどうしの学び合いを大切にしながら学力を向上させます。</li> <li>・互いのよさを認め合い、人とのかかわりを大切にすることのできる子を育てます。</li> <li>・健康な心身をつくるための生活習慣を形成し、進んで運動しようとする態度を育てます。</li> <li>・家庭・地域と連携を図り、豊かな体験を通して規範意識や感謝の気持ちを育てます。</li> </ul>

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<b>確かな学力 (学習指導)</b>	分かる授業・たのしい授業を実践し、子どもの学ぶ意欲を育てると共に、子ども同士の学び合いを大切にします。	<p>① 交換授業や教科担任制を学年の実態に応じて効果的に取り入れ、教師が授業の組み立て方を工夫することにより、子どもの学ぶ意欲の高揚を図る。</p> <p>② 重点研では、「学び合いを通して、自分の考えを深める子」をテーマに、『算数』を通して授業改善を進める。また、空間的な学習環境や段階ドリル的な学習を学校生活に適宜とり入れ、学力向上を図る。</p>
<b>担当</b>	学力向上評価部	

**2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握**

**(1) 学力の概要と要因の分析**

学校全体の傾向は見えづらく、学年による特徴が見られる。全体的には横浜市の平均か平均以下である。学習意識と学力は伴に低い傾向が見られ、学習への意識の向上と基礎学習の定着を高めていく必要がある。生活意識も低くなっており、家庭での学習習慣や生活習慣を高めていけるよう支援が必要である。

**(2) 教科学習の状況**

国語科：「話す聞く」はやや平均を下回る学年が多く、「書く」は平均を上回る学年が増えた。  
 算数科：全体的に平均より低いが、「数学的な考え方」が特に低い。  
 社会科：全学年で平均を下回っている  
 理科：3・4・5年は平均以上で、6年生は「技能」がやや低くなっている。

**(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）**

前年度と比べて学力はやや下がっている。全体的には市平均を下回っている。全学習への意欲が学力に結び付いていないところはあるが、アクティブラーニングを取り入れた学習に取り組んできた結果、学習への興味・関心が高まった部分が見られるといえる。生活意識と学習意識が前年度より下がっている。生活意識調査の特徴は学年ごとに異なるが、学校としての特徴、傾向が表れるような指導を今後行っていく。

### 3 平成30年度 学年・教科等としての具体的取組

#### 1 学年

- 身の回りのことに興味・関心をもち、疑問ややってみたいことを見つける。
- 自分らしく楽しんで表現する。
- 「人」「もの」「こと」に関わり、その大切さや楽しさを感じ取る。
- 友達と学ぶ楽しさを感じ、学んだことを活かそうとする。
- 正しい学習態度と聞き方、話し方を身に付ける。

#### 2 学年

- 身の回りのことに興味・関心をもち、疑問ややってみたいことを見つけ、自分で解決方法を考えたり選んだりする。
- 自分の思いや願いをもって粘り強く活動し、必要な情報を集め、活用する。
- 自分が体験したことや見たり聞いたりしたことをもとに考え、表現する。
- 学習の基礎・基本が身につくように、視覚に訴えるなど効果的な指導を段階的に行う。

#### 3 学年

- 自分の身の回りのことや地域に興味、関心を広げ、疑問ややってみたいことを見つけ、自分で予想を立てて解決方法を考える。
- 自分の思いや願いをもって最後まで取り組み、必要な情報を集め、それをもとに考える。
- 相手に伝えることを意識しながら自分の思いや願いを進んで表現する。
- 学習の基礎・基本が身につくように、視覚に訴えるなど効果的な指導を段階的に行う。

#### 4 学年

- 自分の身の回りのことや地域に興味、関心をもち、自分の問題を見つけ、自分で予想を立てて手順を考えて解決の計画を立てる。
- 問題解決に適した事実や情報をもとに考える。
- 相手を意識しながら表し方を工夫し、自分の思いや願いを表現する。
- 共に学ぶよさを感じ、学んだことを活かして発信しようとする。
- 学習の基礎・基本が身につくように、視覚に訴えるなど効果的な指導を段階的に行う。

#### 5 学年

- 色々な事象に興味、関心をもち、追求したい問題を理由をはっきりさせて解決の方法や手順を考えながら計画を立てる。
- 自他の問題解決に向けて粘り強く活動し続け、必要な情報を集め、事実や根拠をもとに考え、判断する。
- 表し方を工夫し、表現を楽しみながら自分の思いや願いを的確に表現する。
- 自他の考えや行動を比較し、他者の様々な考えや行動を認め、受けとめる。

#### 6 学年

- 事象をよく見つけ、追求する価値のある問題を見出し、解決の方法や手順を考えながら適切な計画を立てる。
- 自他の思いや願いの実現に向けて粘り強く行動し、問題解決のために必要な情報を収集し、事実や根拠をもとに多面的に思考し判断する。
- 表し方を工夫し、表現の喜びを味わいながら自分の思いや願いを的確かつ効果的に表現する。
- 自他の考えや行動を比較し、自分らしさを知ると共に、他者の様々な考えや行動を認め、受けとめる。

#### 個別支援学級

- 基礎的・基本的な学習を継続的に行い、日常生活に必要な国語の力を身に付ける。
- 個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を積極的に活用する場面、機会を設ける。
- 分かりやすく情報を発信し、言語環境の整備を行う。